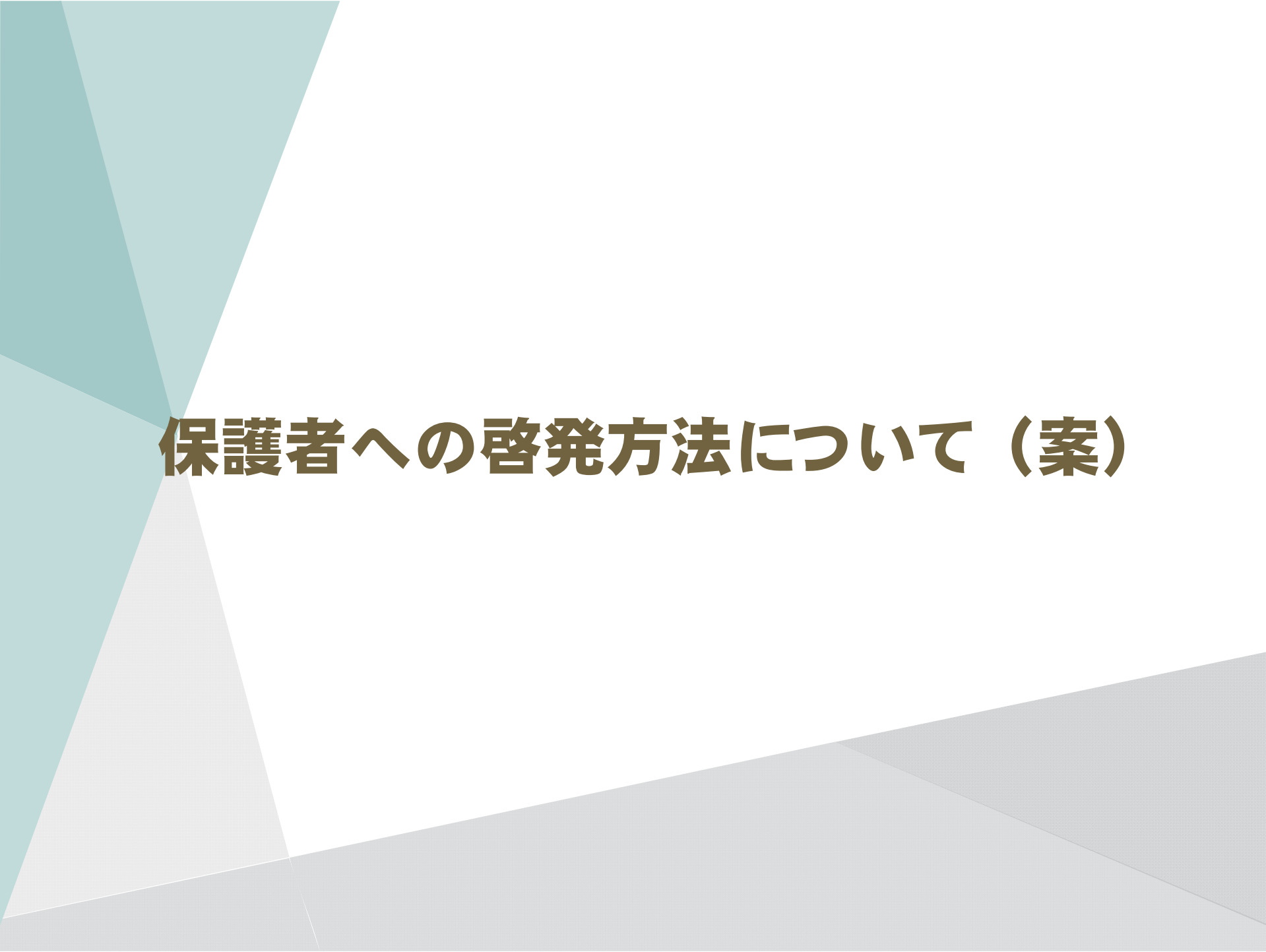




保護者への啓発方法について（案）

啓発方法（案）について

【リーフレットの作成】

A3サイズ of 用紙両面のリーフレットを作成し啓発

【リーフレット配布先】

- ・市内在学の小学5年生～6年生、中学1年生～3年生の児童生徒の保護者
- ・市内公共施設

【掲載】

- ・和光市ホームページ

平成28年度小中学校の携帯電話等利用 実態調査対象者・アンケート項目（参考）

※平成28年度第2回青少年問題協議会でアンケートの詳細結果については公表済み

◎アンケート対象者

調査対象	配布枚数	回収枚数	回収率
小学校5年生～6年生 児童	580	577	99%
小学校5年生～6年生 児童保護者	580	483	83%
中学校1年生～3年生 生徒	322	319	99%
中学校1年生～3年生 生徒保護者	322	203	63%

◎アンケート項目

- ・携帯電話の所持率
- ・子どもに携帯電話を持たせた一番の理由
- ・携帯電話の使用時間
- ・携帯電話の使用目的
- ・携帯電話使用の際に起きたトラブル

アンケート調査及びワークショップで 見えた課題

- ▶ ネット依存（使用時間・不安感・アプリやゲームの課金・動画等）
- ▶ ネットコミュニケーションについて（ネットいじめ等）
- ▶ ネットトラブルについて（個人情報漏洩）
- ▶ フィルタリング設定の低さ



これらを解決するには3つの

「自制力」「判断力」「想像力」を備える必要がある！！

また、フィルタリング設定について、リーフレットを手にとり、すぐにフィルタリング設定できるマニュアルを掲載し、フィルタリング設定率向上を目指す

リーフレット構成について

①和光市内中学生が作成したルールの啓発

②ネット依存の現状

③ネットトラブルの現状

④ネットコミュニケーションの現状

⑤簡易的なフィルタリング設定方法

⑥相談先一覧

※また、②～④の欄に、アンケートやワークショップででた子どもの声、保護者へのちょっとしたアドバイスを掲載。

①和光市市内中学生の作成したルール及び家庭でのルールを記載する欄を掲載

アンケート調査による家庭でのルールづくりの現状

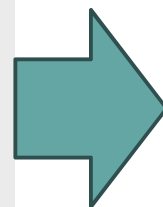
(小学生)

- ・小学生の4割は、ルール(きまり)を決めていない。ルール(きまり)を決めている家庭では、守っている子が多い。
- ・小学生の保護者は、「家庭で決めたルールについて子どもだけではなく家族も取り組んでいる」という回答が、子どもの回答より20%も多く、認識の差がある。

(中学生)

中学生では、「ルール(きまり)を決めている」と回答した割合が、子ども60%に対し、保護者が79%となっており、認識の差が生じている

- ・中学生保護者は、「家庭で決めたルールについて子どもだけではなく家族も取り組んでいる」という回答が、子どもの回答より24%も多くなっている。



ねらい

①中学生が作成したルールを保護者間にも浸透させる。

②和光市ルールを基に家庭でのルールづくりのきっかけをつくる。

②～ネット依存の現状～ 「その1自制力」を備えつけるために

アンケート調査及びワークショップで
得た意見(現状)

- ・使用時間について保護者が把握している時間よりも長い時間となっている。
- ・夜遅くまで動画やゲームをしてしまうなど、スマホの使いすぎで、睡眠不足となっている、という意見があった。
- ・返信をしないと不安になってしまい、勉強などに集中できないとの声があった。

対応策



「自制力」を備え付けるために必要なこと
⇒家庭での具体的な話し合いが必要！

- ・使用時間について
- ・使用方法について
- ・課金について等

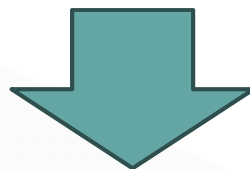
③～ネットトラブルの現状～ 「その2判断力」を備えつけるために

アンケート結果(現状)

「トラブルにまきこまれたことがある」という設問に対し、児童生徒の数値より、保護者の数値が低い。

保護者は子どもに起きているトラブルを認識できていない。

対象者	トラブルに巻き込まれたことがある	ない
小学校5年生～6年生 児童	7%	93%
小学校5年生～6年生 児童保護者	2%	98%
中学校1年生～3年生 生徒	15%	85%
中学校1年生～3年生 生徒保護者	5%	95%



対策応

潜んでいる危険と、危険に対する対応策を知ってもらい、トラブル回避のための声かけアドバイスを掲載し、トラブルを未然に防ぐ判断力を備えてもらう

④～ネットコミュニケーションの現状～ 「その3想像力」を備えつけるために

対象者	掲示板やメールなどで悪口を書いたことがある	保護者が知らないネット上だけの友達がいる	返信がないととても不安に感じる	睡眠時間を削ってでも使ってしまう	(のべ人数)
					授業中や勉強中でも携帯電話のことが気
小学校5年生～6年生 児童	6	5	22	8	6
中学校1年生～3年生 生徒	6	17	18	34	14

(現状)

- ・アンケートの回答でも掲示板やメールなどで悪口を書いたことがある、保護者が知らないネット上だけの友達がいるなど、相手に直接大切なことを伝えられない子どもがいる。
- ・ワークショップに参加した生徒からも、ネットの中でトラブルにあったことがあると答えた生徒が多かったことから、ネットコミュニケーションについて啓発の必要性がある。



対応策

子どものサインを見逃さないように、
保護者からの声かけについて掲載

⑤フィルタリング設定率向上のために

～アンケート結果より(現状)～

(小学生)

・「フィルタリングをしているか分からない」という回答が50%近くと多く、「していない」という回答も12%に上っている。

・保護者の回答では、「ネットが使えない機種や設定になっている」が半分以上だが、子どもには伝わっていない(子どもは分からないが多い)

・「初めからしていない」または「初めはしていたが後で解除した」と回答した理由として、「子どもを信頼しているから」という回答が最も多い。

(中学生)

・保護者の回答では、「フィルタリングをしている」との回答が半分以上だが、子どもは39%となっており「分からない」という回答が多い。「していない」という回答も18%に上っている。

・保護者の回答では「初めからフィルタリングしていない」が小学生保護者と比較して増加している(小学生5%⇒中学生20%)。

対応策

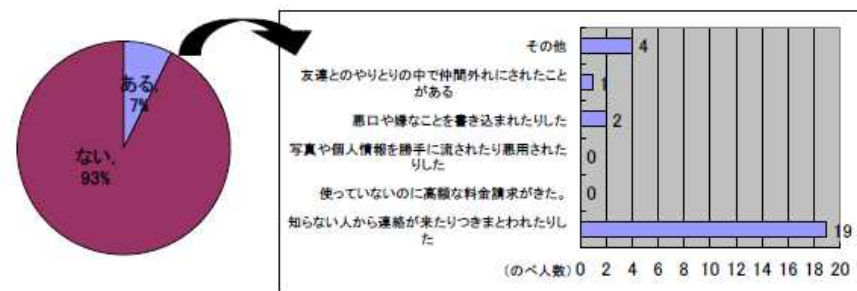


すぐに！簡単に！
フィルタリング設定
をできるような啓
発が必要！！
簡易的なフィルタ
リング手順を掲載

⑥ 相談窓口一覧

【小学生】

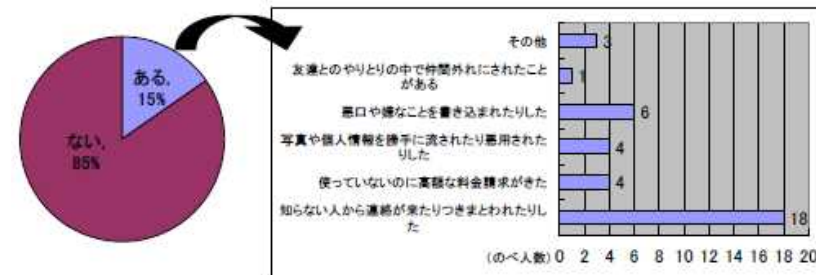
親子ともに「知らない人から連絡が来たりつきまとわれたりした」が最も多いが、件数に大きな差があり、保護者が認識していない項目(トラブル)もある。



その他: けんかをしたことがある、友達が悪口を書いたことがある 等

【中学生】

・トラブルに巻き込まれたことが「ある」と回答した割合が、子どもと保護者の間に差があり、各項目の件数も全体的に子どものほうが多くなっている。
 ・子ども・保護者ともに「知らない人から連絡が来たりつきまとわれたりした」が最も多いが、保護者が認識していない項目(トラブル)もある。



相談窓口を周知することにより、トラブルの深刻化を防止！！